校長室から（美祢高だより）

美祢市秋芳町大字秋吉5236番地
TEL 0837-62-0144　FAX 0837-62-1303

平成２３年１１月３０日
第　５　号

気持ちのいい全員ゴール！！　～ 11月25日マラソン大会

１１月末のマラソン大会が終わると、冬の到来を実感します。また、皆さんには２学期末考査があります。しっかり準備をして臨んでいますか。最後の一科目までしっかり頑張ってください。

さて、マラソン大会では皆さんのすばらしいチームワークを見せてもらいました。マラソンは本来自分との戦いと言われます。自分のペースを保って最後まで走り抜くことが目標です。皆さんは全員がそれをやり遂げることができました。入賞した人たちはとても速いタイムでした。そして、全員が規定時間内にゴールしました。その最後の時、途中で体調を崩して遅れていた一人を誰からともなく「迎えに行こう」という声が上がり、男子が全員で迎えに行き、女子が全員で迎えるというほほえましい光景が生まれました。さりげない優しさでした。きっとどの人の心にも何か温かいものが残ったと思います。私はそれを目の当たりにして、改めて美祢高校のまとまり、連帯の力を実感しました。

以前、「プロフェッショナル」という番組で、東京消防庁のハイパーレスキュー隊の隊長が話されていた言葉を思い出しました。そのままの言葉ではありませんが、紹介してみます。

> すばらしい成果を上げるグループ（組織）には、特別に優れた能力を持った人がたくさん集まっていると思われるでしょう。しかし、グループの力を決めるのはその人たちではありません。最後の一人なのです。最後の一人を皆で支えて押し上げる、それがグループの力を高める上で最も大切なことなのです。

同じように、さわやかな印象の残った出来事がもう一つあります。それは、３年生の英語暗唱を参観させてもらったことです。長い英文の暗唱をグループに分かれて発表していました。クラスメートと数人の先生を前にして、かなり緊張していましたが、見事に全員が上手に暗唱をし終えました。ＡＬＴのブレント先生が講評で、１年生の時より数段発音がよくなったと言われていました。１年生から繰り返し、音読、朗読、暗唱を繰り返して来た成果が出ていたのでしょう。グループで工夫して分担していたことも印象に残りました。全員で暗唱をやり遂げたことを、３年生の皆さんはきっとずっと忘れないと思います。

また、発表者の一人が、忘れたら日本語訳を見て英文を思い出していたことにも驚きました。ただ覚えるだけでなく、皆さんには英語と意味がしっかり結びついているのだと感心したのです。

先日、戦場のカメラマン、渡部陽一さんの講演を聴いたのですが、全く英語が話せない渡部さんが１年間で英語のインタビューできるほどになったコツを話されていました。スクリーンプレイ（映画の脚本）を使って好きな映画を何度も見て丸覚えしたそうです。渡部さんの覚えた映画は、「ゴースト～ニューヨークの奇跡」「トップガン」「フラッシュダンス」だそうです。３本丸覚えしたら、自然と英語が口を突いて出ていたそうですよ。皆さんも挑戦してみてください。

◇ 二学期の学校の様子を紹介します

■ 交通安全キャンペーン

ＪＲＣ部が交通安全のマスコット人形を配り、吹奏楽部が演奏をするという交通安全キャンペーンを秋芳総合支所や美祢警察署と一緒に実施しました。

ドライバーが笑顔で受け取ってくださっていたのが印象的でした。

■ 音楽鑑賞会　水野与旨久（みずのよしひさ）氏によるマリンバの演奏

高校文化連盟主催の事業として、水野与旨久氏と奥様が本校を訪問してくださいました。

本物の演奏と心に残る言葉をいただきました。特に印象に残ったのは、受験のためだけではなく自分の一生のために学ばなければいけないと言われたことでした。また、ベートーベンが作曲家の命とも言える聴覚を失った後に、自分には心の耳があると気づいて、「喜びの歌」を作ったという話も心に残りました。「聴」という字を分解して「十四の心の耳」と言われました。

■ 秋芳の里の種まき

ＪＲＣ部が放課後、秋芳の里の畑作りを手伝いました。
どんな野菜が育つか楽しみですね。

■「今、みなさんに伝えたいこと～自分を大切にするってどういうことだろう」

山下ウイメンズクリニックの高杉敏子助産師さんに講演をしていただきました。

■ 秋芳北中学校の野村先生が１年生に数学の交流授業

本校では連携している３つの中学校に交流授業に行っています。１１月から１２月にかけて、国語・英語・数学・理科で交流授業を行っています。

それに先がけて、中学校の先生が本校の１年生に数学の授業をしてくださいました。野村先生の生徒を惹きつける話術と体験学習から高校数学まで進む巧みな授業展開に、１年生全員が熱心に取り組みました。